

## 平成 28 年 1 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

1 月の業種別景況の D I 値は、13 業種の内一般機器と建設業のみが対前月比で好転、それ以外の 9 業種は悪化しており、全体としては悪化傾向にある。

暖冬による冬物商材が低迷している中、一転して寒波に見舞われたことにより、物流や商流が混乱して消費も低迷し、食料品・小売業・商店街の売上が大きく落ちている。

慢性的な人手不足や受注量の減少の中であって、燃料価格が下がっており利益増の好影響もでているが、材料費等コストが下がらず、中小企業にとっては苦しい経営状況が続いている。

### 山口県の主要指標 DI 値（平成 28 年 1 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 3.8% 悪化：36.3% DI 値：▲32.5% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加： 7.5% 減少：40.0% DI 値：▲32.5% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 6.3% 悪化：36.3% DI 値：▲30.0% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 28 年 1 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	▲25.0	▲66.7	▲100.0	▲50.0	▲11.1	50.0	▲33.4
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業
▲40.0	▲44.4	▲75.0	▲8.3	▲20.0	▲42.8	▲31.9
						

全 体
▲32.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	今年の正月休暇は短かったので、店舗の売上が減少した。駅・SA・空港等の公共交通機関の売店は前年並みであったが、大河ドラマ“花燃ゆ”終了の萩地区は予想通り売上が激減した。	パン・菓子製造業
	12月は平日の売上が平年の水準より高く、対前年同月比5.7%のアップであった。1月は第3、4週の寒波襲来で萩市内も冠雪し、交通事情の悪化により大幅に売上が落ち込み、28日時点で前年比マイナスとなった。大河ドラマ効果も終了、今後はダウントレンドに向かう予測をしており、売上の減少を食い止める方策をいくつか実施の予定である。今年4月で開業満15年となり、平成28年度で冷蔵冷凍施設の経年劣化に伴うリニューアルを計画している。	水産食料品製造業 萩市
	年末より商品の動きが鈍い。また不規則な天候などの影響で休日の人の動きが悪かった。	水産食料品製造業 下関市
	長雨の影響で麦の播種が大幅に遅れた上に、最近の低温の影響で麦の収穫の遅れやその後の田植作業に支障が出ないかどうか懸念されるところ。昨年に比べ米価は若干上昇したが、米の需要が減少傾向にあるとのことなので、在庫の拡大が懸念されるところ。TPPについて各国による署名も終了し、日本でも今国会で承認されるところであるが、農村現場は、更に厳しい状況になると予想されるので、適切な対策が必要となっている。	精穀・製粉業
繊維工業	主力販売取引先の受注増（新製品作り込みの追加生産）により3月末まで受注あり。1月～3月の操業日数を4日増やし、プラス日々1時間の残業で対応している。但し、上述生産分の新製品発売が開始されたが販売状況がかなり悪く、在庫過多による生産調整が懸念されたが、1月からキャンペーンの実施があり、1月の売上は30%増の見込み。	下着類製造業
	秋冬販売不振の影響が少しみられる。萩地区の工場再稼働は順調に進んでいる。山口市の工場は人員を増加している。	外衣・シャツ製造業 山口市
	国内生産に戻りつつあり工場も減少していることから、仕事がなくなる事は無い。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	諸事情に変動は無い。	製材業・木製品製造業 山口市
	組合員間で差異はあるが、人員不足が慢性化しているところもある。	製材業・木製品製造業 下関市

印刷	世の中の景気状況は地方の中小企業までには届いておらず程遠い。	印刷 下関市
	売上高は、近年最悪の年明けとなった。	印刷 山口市
窯業・土石製品	<p>事務員の退職により人員が減少している。災害復旧工事等も終了し、平成28年度は平成27年度より更に出荷量・入札件数も激減すると予想される。</p> <p>(平成27年1月) 骨材100%、路盤材141%、再生材132%</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(平成28年1月) 骨材 62%、路盤材 64%、再生材 49%</p>	砕石製造業
	出荷量は、前月比104%、前年同月比99%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。	生コンクリート製造業
	組合による経営規模調査を実施したところ、従業員増加に伴いランクアップした事業所が2社あった。後継者育成・技能伝承のための増加であれば問題が無いが、急に忙しくなったという理由で雇用人数を増やすという場合は、今までの経験によると、業界の動向を見ながら慎重に考えなければならない。	石工品製造業
一般機器	<p>1月の景況は前月に引き続き概ね不変。①自動車関連は順調だが金型はこれからの受注に期待したい。②大手の設備投資が一段落したため大口の受注が落ちているが、寒波来襲の水道管の破損による小口受注が多かった。③容器製造に関しては県内外の小口の受注が多く1～2月はフル稼働している。④中国の景気減速により加工用鉄鋼材料が安くなっておりコストの削減となっているが、輸入するにも為替相場に左右されるので気がかりなところである。⑤人手不足の状態が続いている。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	機械検査関係企業の受注状況に陰りがみられ残業が減っている。その他の業種は好調で残業も多いため、組合としては36協定の順守を指導している。機械加工、食品加工、スーパー、農業、食肉加工業、溶接関係、惣菜、自動車整備業、介護サービス業では、既に派遣等を活用しているが人手不足のため、外国人技能実習生受入事業の増員や新規の相談があり、特に介護施設からの問い合わせが増えている。	一般機械器具製造業 宇部市

	<p>金型生産の1月設備操業度は昨年12月に比べ上昇。昨年の受注済金型が客先からの支給品の遅れや製品図の未確定等の要因でなかなか機械稼働率が上がらない状況であったが、1月に入り確定し動きだし、昨年の見積案件も確定し受注に至った。今年受注は昨年同様に厳しいと予測しており、受注促進を今以上に進めなければならない。客先の要求も年々厳しくなり、低価格・短納期・高品質でいかに付加価値を高めた提案が出来るかが客先を取り込む鍵となるが、成形機も含めたシステムの提案型受注が出来ればと思っている。鋼材メーカーの情報では、九州地区のプラスチック金型鋼材がやはりあまり動いてない模様。成形製品の生産設備稼働率は上昇傾向だが、受注量が伸び悩み先が読めない中、工程の見直しや無駄の排除などより一層の効率化が必要な状況。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>鉄道車両、精密加工、プラント部門ともに、作業量に恵まれている。鉄道車両は1～2ヶ月横ばいの状況であるが、来期から好調が続く見込み。精密加工も春先までは上昇にあり昨年を超える見通しだが、単期のため油断は禁物と考えている。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>山口県海苔の共販実績は前年度に比べ枚数では64%、平均単価は3円高い10.92円となり、また、海苔の在庫量も前年度の3分の2で、海苔の絶対量が少ない事が影響している。1月下旬までは寒気が継続し病害も拡大は避けられそうであるが、その後の気象が今後の海苔の生産に影響を与えそうである。</p>	乾物卸売業
	<p>天然物は豊漁のため値下がりしているが、養殖物は少なく高騰している。“ふく”は養殖物が品薄のため、相変わらず高値が続いている。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>景況は、昨年よりは少し良くなっていると話す組合員もある。</p>	各種商品卸売業 防府市
	<p>昨年同時期と同様にガソリン価格が連続して値下がり配送コストの削減となり、収益の改善に期待をしている。</p>	各種商品卸売業 防府市
小売業	<p>売上は初売りの影響で月初めは良かったが月末は悪化し、前年同等が良い方で前年割れの店舗が多い模様。1～3月は化粧品が売れない時期でもあるので、その影響もあると思う。</p>	化粧品小売業

	<p>組合員である経営者の高齢化・後継者不足など事業継続に意欲的な経営者が少なく組合の解散を検討して行く事が役員会にて決定した。地域で商売するのが厳しい状況に落ち込んでいる。地区内の中小企業者は、自動車関連製造業は海外から戻った仕事が増えており他の業種と比べ業況は良い。建設業は熟練工が不足しており、今後は新規学卒を育てていく必要がある。小売業は消費の多様化する中で、特に若者が地元商店街離れとなり、ますます厳しい状況が進むと思われる。サービス業は原油価格の下落により、採算や資金繰りの面で恩恵を受けているが、また原油価格が高騰することも考えられ楽観は出来ない。</p>	<p>各種商品小売業 岩国市</p>
	<p>売上は前年比プラスで順調に推移していたが、24日大雪以降の3日間は人出がほとんどなく、防寒・雪除け関係の一部店舗以外は全滅状態といっても過言ではない。</p>	<p>各種商品小売業 山口市</p>
	<p>今月中旬の2度による大雪のため、既存店では客数、売上とも前年を大きく下回る厳しい売上状況であったが、全店ベースでは売上は前年を上回った。</p>	<p>各種商品小売業 長門市</p>
商店街	<p>気温の上昇から冬物衣料の売上が伸び悩み、冬物バーゲンも例年以上の割引率での消費喚起等実施をしたが、値引き幅が大きくなり売上高の減少に直結している。</p>	<p>山口市</p>
	<p>12月は売上が上がったが、1月に入ると全体的に下がった。店主は年明けの対策を考えなければならぬと言われるが、1月に売上が下がるのを見越した衣料品店はセールを実施し客足は良かった。また、全体的に悪い営業状態で消費税が10%になると本当に苦しくなるという意見は多い。</p>	<p>萩市</p>
サービス業	<p>景気低迷で、金融公庫の貸付も借りるのは良いが返済できるのか不安で、控える組合員もいる。</p>	<p>美容業</p>
	<p>1月は寒波の影響もあり、厳しい状況。</p>	<p>理容業</p>
	<p>自動車の安全装備が普及してきているが、自動ブレーキ装着車の増加による事故の減少により、钣金整備を主とする事業場の経営環境は今後一層厳しくなることが予想される。</p>	<p>自動車整備業 山口市</p>
	<p>急激な寒波により事故車入庫で多少は多忙を強いられたが、去年の売上高の増幅まではいかなかった。</p>	<p>自動車整備業 山口市</p>
	<p>人手不足が継続している。年度末から来年度初頭にかけての入会者獲得で試行錯誤している。</p>	<p>スポーツ・健康教授業</p>
	<p>大きなイベントは無かったが、ビジネスホテルを中心に順調に推移した。宿泊人員及び売上高とも対前</p>	<p>旅館業 山口市</p>

	年103%で、アップしている。	
	インバウンドのお客様を少しずつ受け入れている宿も増え、ツアー・家族連れのお客様が増える見込みの様様。	旅館業 下関市
	今月は天候不順等により入浴者が減少し、売上高は前年同月比10%の減少。管理費は人件費、光熱費等で減少した。売店部門は改修工事が継続しており売上高の減少となった。	旅館業 長門市
	忘年会は終わってみれば大した売上でもなく、新年会は死語になって久しい。年明け早々の株価連続下落も業界にとっては大した影響はない模様。朗報は年末からのガソリン価格の値下がり継続しており収益の悪化に歯止めがかかるかもと期待したが、思わぬ寒波の影響による野菜の高騰で帳消しとの報告もあった。景気は踊り場にあるとの判断もあるが、浮かれる踊り場なら業界に希望も見えて来るが、先行き不透明な踊り場となっていることが気になる。アベノミクスのサプライズとしてマイナス金利が登場したが、相変わらず先行きの見えない飲食業界である。	飲食業
	原油価格の下落で、燃料である灯油価格が下がり、一点あたりの利益が増えている。しかし、一度価格が上がったプラスチック製品や包装ビニールなどが元には戻らず、資材の購入に於いては苦しい状況が続いている。この時期は閑散期でクリーニングの需要がなく一度に洗う点数が少ないため、利益幅は少なく採算すれすれの状況である。	普通洗濯業
建設業	山口支部の中電への工事申請は12月223件（前年同月223件）。太陽光発電への申請27件、オール電化申請39件（前年は太陽光49件、オール電化58件）、LED街路灯への切替・新設申請64件（前年は13件）であった。	電気工事業
	青年部の新年会で、上関の景気は良くなく柳井はもっと悪く、工事量の少ない話ばかりであった。工事量が少ない上にやっと受注しても土地の買収や打ち合わせ不足で工事にかかれないとの事。雇用は高校生は少ない数だが確保できるが、大卒はかなり困難とのこと。女性の活用も掛け声ばかりで活性化していない。	土木工事業 柳井市
	時代のせい、組合員の組合員たる意識がない。組合を解散しようとする人が増えた。	土木工事業 下松市
	28年1月の受注高は、対前年同月比16%。今年度の累計では対前年比41%。	土木工事業 萩市

	1月は、2月末納期の入札済み工事を熟しているところであるが、例年に無い寒波により家庭の水道管の修理が多く、入札の工事をおいて対応し、忙しい状況であった。	管工事業
運輸業	正月と連休の多い月のため、車両の動きは低調であった。国内向け鉄鋼素材はやや上向きであったが、輸出関連はやや低調。ドライバー不足は依然として解消されず、売上高も前年同月比で約1割の減少となった。中小企業の大半の運送業では運賃の値上げが不可能な中で、燃料費が2.7円の値下げとなり、好影響とはなっているが収益はやや悪化している。軽油引取税の減税を願う声が多い。	一般貨物自動車運送業 下松市
	前年同月比で受注は5%程度減少し、自動車及びタイヤ関連ともに売上高がマイナスとなった。現状が続くようであれば自動車関連メーカーの来期生産計画も落ち込みも否めない。燃料価格の下落は歓迎されるが、それ以上に世界経済の落ち込みは苦境である。	一般貨物自動車運送業 防府市
	物流は、運送・保管ともにそこそこ動いているようだが、やはり価格の面で割に合わない仕事も多いようで、何でもかんでも受注すると逆にマイナスになりかねない。また、相変わらず人員不足で、県内の求職者が減っているのか、募集をかけても集まらない状況がずっと続いている。燃料の値下がりが続いており、収益に良い影響を及ぼしている。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	昨年12月後半が忙しく仕事に追われ、1月は12月の後始末で大変であった。当組合の軽油燃料は10当たり89円で、今後はもう少し下がる見通しだが、天候が気かりである。仕事量が減っている東京以北の景気が戻るよう願っている。	一般貨物自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲5.2%（平成27年12月1日～平成28年1月20日分）。12月1日～31日分は▲7.5%、1月1日～20日分は+1.0%と1月になり少し回復しているように思われるが、繁忙期で絶対額が大きい12月分が減少したので累計額は回復とは言えず、厳しい状況が続いている。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域で、12月分については、防府市地区が▲14%、周南▲5%、下松▲13%、光▲10%、他地区（員外）+1%となり、組合員の全域で▲7.6%となった。主要燃料のLPGは、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、為替が少し円高になり、ブタン、プロパンのCPが急落（前月455\$/トンが今月433\$/トン）し、購入単価は先月よりも3%安くなった。前年1月分も下降傾	一般旅客自動車運送業

	<p>向だったが、前年同月比で11%安価となった。車両代や整備費用が上昇している中、燃料費が下がるのは大いに助かっている。スキーバスの事故があり、旅客運送事業の労務管理と事業収益のバランスが、規制緩和で崩れている。今後、運輸局の指導方針が厳しくなると思うが、乗務員の安全管理を行っても採算の取れる事業となるような、運賃体系や台数規制が必要と思われる。昨年8月から続く売上の大幅減少が少し和らいでいることや、うるう年で2月が1日多い事など、年度末に向けて期待は大きい。株価の下落等もあり、まだまだ予断の許されない状況。</p>	
	<p>小野田港の取扱高は減少している。今後1～2か月は季節的要因による若干の増加の可能性はあるが、一時的なものとする。</p>	<p>港湾運送業</p>